

# ふかがわ

# 市議会 だより

## 第1回定例会

- ◆新年度の予算が決まりました ……2P
- ◆新規・重点事業紹介、委員長報告 ……3P
- ◆予算審査特別委員会質疑 ……4～11P
- ◆可決された条例、補正予算、意見書など ……12～13P

## 新型コロナウイルス

感染症対策会議を設置 ……14P

地方創生特別委員会審査概要 ……15P

総務経済常任委員会意見交換会 ……15P

政務活動費収支報告 ……16P

No.239 2020.5

令和2年5月7日発行

発行 深川市議会

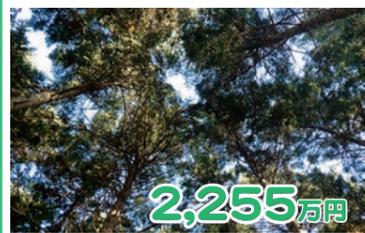
編集 広報編集委員会

令和2年第1回定例会（3月3日～23日）開催  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
会期日程を大幅に変更して実施!!



Pick Up

一般会計 議会が特に審査を深めたものや、新規・重点事業の一部を紹介



2,255万円

### 森林環境譲与税を活用した森林整備促進事業

森林環境譲与税を財源に、森林整備、木材の普及啓発を行います。



1億6,030万円

### 公私連携型保育所と子育て支援センターの運営

新たに整備した保育所と支援センターの運営を開始します。



2,040万円

### コウノトリ応援プランの拡充

妊娠・出産・子育てを応援する交付金事業を拡充します。



2億2,401万円

### 高機能消防指令センターなどの更新

消防指令センターのシステムや救急自動車などを更新します。



3億6,400万円

### 深川市立高等看護学院の新築

老朽化した高等看護学院を2カ年で新築します。



205万円

### エフバシオトレーニング室オープン

最先端の機器を導入したトレーニング室の運営を開始します。



1億825万円

### 新庁舎建設事業の推進

新庁舎の建設に向けた、基本設計及び実施設計などに取り組みます。



114万円

### ふるさと同窓会応援事業

市内の飲食店などで開催される同窓会などの経費の一部を支援します。

会計名	予算額(万円)
特別 介護保険	230,800
特別 国民健康保険	310,700
特別 後期高齢者医療	39,640
特別 農業集落排水	17,700
特別 下水道	95,170
企業 水道	86,820
企業 病院	540,042

## 予算審査特別委員会での審査経過

予算審査特別委員会は、全議員により構成され、今回は宮澤議員が委員長に、佐々木議員が副委員長に就任し、2日間の委員会審査を行いました。

委員会では、各会計の説明が書面により配付され、その後、各委員が予算書や補足資料に基づき所管から聞き取りを行い、理解を深めるとともに疑問点を整理しました。3月17日、18日の議場での委員会においては143項目にわたる質疑を行い、各会計について討論・採決を行いました。

3月23日の本会議において宮澤委員長より、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の3件が賛成多数、そのほかの5件については全会一致で「原案のとおり可決すべきもの」と委員会報告を行いました。



宮澤予算審査特別委員長

# 新年度の予算が 決まりました



## 各会計総額 292億2,872万円 うち一般会計 160億2,000万円

## 第1回定例会・予算審査特別委員会 日程変更・議案審議のあらまし

### 新型コロナウイルス 感染症拡大防止の対応

令和2年第1回定例会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、会期日程を変更するなど、さまざまな対策を講じての開催となりました。

これまで、初日から2日間かけて行っていた新年度予算や条例などの提案を1日に短縮したほか、通常3日間かけて行っていた一般質問を今定例会では行わないこととし、予算審査特別委員会での質疑も3日間から2日間に短縮するなど、大幅な日程変更を行いました。

また議事運営では、これまで口述していた提案説明や報告の一部を書面配付とすることにより、会議時間の短縮を図ったほか、議場内では、議員・説明員・傍聴者にマスクの着用を求めると、できる限りの対策を講じ、感染拡大防止に努めました。

### 提案された議案の 審議結果

第1回定例会に提案された議案は、条例7件、令和2年度当初予算8件、令和元年度補正予算9件、人事案件5件、意見書3件、決議案・陳情各1件、そのほかの付議事件として動議2件の合わせて36件でした。

うち、補正予算8件、条例1件、人事案件2件は初日に全会一致で可決または同意。条例6件と当初予算8件、陳情1件は3月16日からの各委員会審査を経て、23日の最終日に陳情は継続審査、それ以外は全会一致あるいは賛成多数で可決しました。

また、23日は追加提案の補正予算1件、人事案件3件、決議案1件、意見書3件を全会一致で可決または同意しました。このほか、議長及び議会運営委員長に対する解任動議が提出され、賛成少数で否決しました。

第1回定例会では一般質問を行わなかったため、今号では、予算審査特別委員会での質疑を紹介します。



さ さ き かずお 議員  
佐々木一夫 議員  
(新政クラブ)

## 道の駅臨時出店者の条件は 道の駅指定管理者に相談を

Q 土・日曜日や祝日などにおける、道の駅屋外での市民・市内事業者の臨時出店はむしろ歓迎すべきと思う。テナント出店の認可は榊川振興公社へ権限委譲されているが、臨時出店の条件は公開されているか伺う。

A 条件を満たしていれば特別な条件を課すことはなく、道の駅の活性化への相乗効果など、大いに活用いただきたいと考えています。臨時出店に関する一定の決まりについては指定管理者、テナントなどで構成する道の駅連絡会で定めており、一般には公

開していませんが、臨時出店については、道の駅指定管理者に相談いただき対応したいと思えます。また、市と振興公社のなれ合いとして市民の不信を買うのでは。

決裁を得ても、期間の提示がなく恒久化した場合は条例違反ではないか。また、市と振興公社のなれ合いとして市民の不信を買うのでは。

界を迎えたことから、入館者へのアンケート調査の結果も踏まえ、必要人員を確保できるまでの当分の間、開館時間を午前9時から午前10時に変更することを承認したものです。開館時間は、条例で市長の承認により変更できるとしており、問題ないものと考えています。

### まあぶの営業時間短縮問題

Q 現在、都市農村交流センター「アグリ工房まあぶ」は営業時間を短縮しているが、特例適用の

A 指定管理者において、まあぶの浴場運営の必要人員を確保できない状況で、ローテーションの組みかえなどの対応にも限

- 1点目 道の駅維持管理 予算額：2,270万円
- 2点目 都市農村交流センター維持管理 予算額：6,468万円



まつもとまさひろ 議員  
松本雅祐 議員  
(令和公明クラブ)

## 赤ちゃんを守る液体ミルク 公的備蓄品として検討する

Q 災害時、水や電気などの用意が難しい場合がある。赤ちゃんの命を守るミルクを確保するため、お湯や水に溶かす必要がなく、常温で保存できる液体ミルクを備蓄する考えについて伺う。

A 液体ミルクは、災害時の避難所で粉ミルクを飲ませられないなどの状況では有効な物資になると考えています。液体ミルクは平成30年度から日本での製造販売が開始され、母乳に近い栄養素を含み、常温で半年から1年間保存できる商品です。粉ミルクと比較すると割高ですが、非常時の精神的ストレスで母乳が出なくなった方も利用できる

ことから、令和2年度から公的備蓄品としたいと考えています。

### 市内での同窓会開催に経費を助成

Q 市内の学校の卒業生が、市内で同窓会やクラス会を開催した場合の経費を助成することは、関係人口をふやし、地域経

済の活性化と本市を応援してもらうきっかけづくりになるが、事業内容を伺う。

A ふるさと同窓会応援事業の対象は、市内の小中学校、短大、看護学院に在籍した方による同窓会などとし、開催要件は市内飲食店などでの開催、出席者10人以上のうち5人以上が市外在住者であること、また、市が用意するパンフレットなどの配付に協力いただくこととしていきます。これらの要件により、出席者1人につき1500円、上限4万円を助成するほか、推奨店では出席者数に応じてふかがわシールドルの提供を行います。

- 1点目 防災対策 予算額：582万円
- 2点目 ふるさと同窓会応援事業 予算額：114万円



やまもとときお 議員  
山本時雄 議員  
(令和公明クラブ)

## 深川産米等海外販路拡大は 輸出国発掘に向け推進

Q 深川産米等輸出拡大事業が展開されているが、過去3年間の実績と令和2年度の海外における販売先などの拡大・進展についての新たな取り組みの具体的な内容を伺う。

A 過去3年間の米の輸出実績は、ベトナムに対して平成29年度は約39トン、30年度は約52トン、令和元年度は約41トンとなっています。令和2年度は、市やJ Aきたそらち、生産者で構成する深川産米等輸出拡大事業実行委員会において、香港への販売促進対策として輸出事業者などとの協議・調整や現地での販売促進PRなどを行うほか、新たな輸出国

の発掘に向け、輸出事業者との協議・調整やサンプル米の提供を行うなど推進する考えです。

### 子育て支援、放課後児童健全育成

Q 放課後児童健全育成事業の事業費が、令和元年度の予算額と比較して大幅に増額になっている

が、増額の要因について伺う。

A 現在、この事業を実施する放課後児童クラブは、深川小学校区に2カ所、それ以外の小学校区に各1カ所の計7カ所にあり、そのうち納内小学校区のクラブは納内保育園において市直営で、それ以外の6カ所は、市内

- 1点目 農産物等海外販路開拓事業 予算額：121万円
- 2点目 放課後児童健全育成事業 予算額：3,000万円



きたむら かおる 議員 (公政クラブ)

## 空き家解体助成の見込みは 10件程度の需要を見込む

Q 深川市街地において老朽空き家が目立ち、危険すら感じる空き家があるが、これまでの老朽空き家解体助成の実績と、新年度の助成見込みについて伺う。

A この制度は、老朽空き家住宅の解体費用の一部を助成するもので、平成30年度から実施し、過

去の実績として30年度は件数8件、助成額175万4000円で、令和元年度は件数18件、助成額376万9000円です。令和2年度予算では件数10件、助成額220万円を見込んでおり、地元事業者や市民の方々から、助成制度の内容や実施時期の問い合わせを受けて

いることなどを考慮すると、おおむね予算見込み程度の需要があるものと考えています。

インバウンドモニター受入PR事業について、取り組みの内容を伺う。

A 本事業は市と深川観光協会が連携して、台湾の現地窓口機能を活用し、日本のPRに意欲のある台湾の学生を募集し、選定された方にモニターとしてお越しいただき、本市の観光体験をしていた

- 1点目 まちなか居住推進 予算額：4,500万円
- 2点目 観光振興事務 予算額：1,794万円



おおまえ あきよ 議員 (民主クラブ)

## シードルの販路拡大は 品評会などを有効に活用

Q 特産品として黒米・ふかがわポーク・シードルなどが、道の駅や物産館を通じ多方面に浸透してきており、特にシードルは他市の酒店でも見るようになったが、販路の拡大を含め今後の取り組みを伺う。

A ふかがわシードルは、最近では札幌や北見などの大型スーパーマーケットとの取引につながるなど、少しずつですが市外の販路が広がっており、これはシードルの品評会での入賞が影響していると考えられることから、引き続き品評会などの機会を有効に活用していきたいと考えています。また、令和2年度はシードル発売7周年の節目を迎えるため、これを記念する商品企画するなど、さらなる販路拡大に取り組んでいく考えです。

学校において集団で取り組むことは、薬剤を使用するため危険性もあり疑問に思う。フッ化物洗口実施の考えについて伺う。

A フッ化物洗口については、児童の虫歯を予防するため、平成26年度から市内6校全ての小学校において週1回行っており、全児童数に占めるフッ

化物洗口を行った児童数の割合は72・2%です。フッ化物洗口は、児童の虫歯予防に対して効果があると考えており、フッ化物洗口の効果と方法について改めて指導しながら、保護者の意向を確認の上、継続して実施していきたいと考えています。

- 1点目 地域資源活用事業 予算額：175万円
- 2点目 学校保健衛生管理 予算額：165万円



たばた はるみ 議員 (民主クラブ)

## 新年度の教育相談体制は 適切に対応できるよう強化

Q スクールカウンセラー配置とスクールソーシャルワーカー活用事業について、新年度のそれぞれの体制と、新年度の予算増減の理由を伺う。

A 新年度の体制は、スクールカウンセラーを引き続き小中学校に各1人配置し、スクールソーシャルワーカーはこれまで深

川小学校を拠点として1人配置していましたが、現在、教育委員会に配置している学校教育指導専門員が両方の業務を兼ねることで、より柔軟で適切な対応ができるよう体制強化を図るものです。新年度予算では、スクールカウンセラー配置事業とスクールソーシャルワ

ーカー活用事業に分けたことから、それぞれ増減となったものです。

た事業が終了したことから、新年度における事業の内容について伺う。

A 深川商工会議所主催の研修については、受講者の減少などにより令和元年度をもって事業を終了することから、令和2年度からは、民間事業者が実施する同様の研修を受講する市民に対して、

- 1点目 深川市スクールカウンセラー配置・スクールソーシャルワーカー活用事業 予算額：220万円
- 2点目 介護職員養成研修支援事業 予算額：75万円



おたこういち 議員  
太田幸一 議員  
(新政クラブ)

## 男女雇用機会均等法の推進

## 経済団体と連携し取り組む

Q 男女雇用機会均等法は個人の尊厳と、男女の本質的平等を基に一切の差別を禁止しているが、労働条件格差に加え、家事・育児への女性負担が重い社会的実態もあり、ILO条約と乖離し批准に至らない。市の考えは。

A 市では、労働関係各法や制度をホームページに掲載しているほか、令和元年度は、労働者就労・生活実態調査を依頼する際に、事業主と労働者それぞれに対し、女性活躍推進法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法などの資料を作成、配付して周知しています。今後も、雇用や労働環境の整備といった意識がさら

に浸透するよう、経済団体とも連携する中で、引き続き周知や啓発に取り組んでいく考えです。

花壇などを転用し、同公園内に設置できないかとの声があった。前向きに考えられないか伺う。

A 大正緑道の公園としての位置づけ、用途は現状のままで、その一部を利活用することは、公園配置の考え方に沿い、整備費の軽減も見込めるなど、大変有効なものと受けとめています。今後については、大正用水のボックス施設管理者である深川土地改良区などの協議を含め、既設公園の配置や利用状況を勘案するともに、大正緑道を利した公園整備について、財政状況を踏まえ検討したいと考えます。

- 1点目 労政管理事務 予算額：250万円
- 2点目 公園維持管理 予算額：5,105万円



つじもと さとし 議員  
辻本 智 議員  
(公政クラブ)

## 飼養管理助成で畜産振興を

## 各種補助にて振興に努める

Q 畜産振興費が大幅な増額となっているが、深川牛のブランド化を支援することは極めて重要である。令和2年度の事業内容と飼養管理における防疫支援をどのように進めるのか伺う。

A 継続事業である家畜伝染病自衛防疫事業補助金と家畜共済事業補助金のほか、新規事業として、北空知牛受精卵移植事業運営協議会が実施する技術研修先進地視察などの経費を支援する北空知牛受精卵移植事業補助金と、家畜伝染病自衛防疫組合が実施する畜舎内への次亜塩素酸水の噴霧による、飼養環境改善を支援する家畜飼養衛生環境向上補

助金の取り組みを通じ、畜産業の振興に努める考えです。

地域の見守り生活支援事業の予算は、住みなれた地域で暮らす高齢者世帯などの見守りは、近隣住民による市民共助に支えられている部分が多い。地域二

二ーズの掘り起こし、支援を進めるための生活支援体制整備事業について伺う。

- 1点目 畜産振興及び防疫衛生指導 予算額：118万円
- 2点目 生活支援体制整備事業 予算額：349万円



ちかさわひろゆき 議員  
近沢弘幸 議員  
(公政クラブ)

## IT調達適正化推進事業

## 急速な技術進歩に対応

Q 日進月歩の情報処理システムは、定期的なメンテナンスと機器の更新が必要となるが、IT調達適正化推進事業の内容と、予算増額の理由について伺う。

A 本事業は平成19年度から開始し、電算システムの新規導入や更新などにかかる予算要求案件に

ついて、必要性、緊急性などを確認することも、提供を行っている事業者に対し、積算内容を確認し、費用について交渉を行うなど、技術面や価格面の妥当性を審査するものです。増加額の理由としては、ICT分野における急速な技術の進歩に対応するため、IT審査

業務を外部事業者への委託料として計上したことによるものです。

望者がいると伺っているが、過去3年間の事業件数と予算増額の経緯について伺う。

- 1点目 情報技術（IT）調達適正化推進事業 予算額：150万円
- 2点目 非農用地利活用促進事業 予算額：560万円



小田雅一 議員 (公政クラブ)

### 高齢者のバス利用の状況は

### 利用者数の増加を見込む

Q 高齢になり運転免許証を自主返納された方の交通手段の確保は、重要な課題である。市内循環線の運行も2年目を迎えたが、直近の利用状況と前年度より増額した理由を伺う。

A 高齢者バス利用料金助成事業の登録者数は、平成29年度末が598人、30年度末が730人、令和元年度末は800人で、延べ利用者数は、平成29年度が2万544人、30年度が2万3091人、令和元年度は2万5300人を見込んでいます。増額の理由としては、令和2年度の登録者数を870人、延べ利用者数を2万7500人と増加を

見込んでいることから、バス事業者に支払う運賃としての利用料を650万円としたためです。

ハンターによる駆除で一定の効果が出ているが、過去2年間の駆除実績と令和2年度予算を伺う。

A 駆除数について、平成29年度はエゾシカ24頭、アライグマ76頭、30年度はエゾシカ146頭、アライグマ84頭です。予算の内訳は、鳥獣を捕獲したハンターへの報奨金162万円、捕獲に要した時間相当分の報償費261万円、施設の処理業務委託料1250万円、ヒグマ捕獲用箱わな1台購入55万円、アライグマ捕獲用箱わな10台購入28万円と保管用物置100万円、そのほか施設の維持管理費です。

- 1点目 高齢者バス利用料金助成事業 予算額：666万円
- 2点目 有害鳥獣駆除 予算額：2,017万円



田中昌幸 議員 (民主クラブ)

### オートキャンプ場の利用は

### 過去最高の入場者数を記録

Q 外国人観光客の雪中キャンプでの活用など、深川市におけるインバウンド観光の一つの核として可能性があるオートキャンプ場の入場者数の推移と特徴、令和2年度に向けた取り組みについて伺う。

A 入場者数は、平成15年度から17年度の年間約1万2200人をピークに、26年度には8900人まで減少したものの、27年度以降は約1万人で推移し、令和元年度は2月末現在で1万3000人となっています。特徴としては、パンフレットや案内看板への外国語表記の追加、キャンパーのニーズに対応した取り組みにより、台湾のキャン

プ関係者の招聘につながるなどの成果が出ているものです。今後インバウンド観光を中心とした取り組みを継続強化していく考えです。

多くの若い方がまちの中を歩き、さまざまな事業にも参加するなど、すばらしい影響を与えていただいているが、新年度の入学予定学生数について伺う。

A 令和2年度の学生確保について、3月9日現在で農学ビジネス学科は定員170人に対し106人、保育学科は定員60人に対し39人で、合計145人となっております。昨年同時期と比べ20人ほど少ない状況です。しかし、昨年、一昨年とも217人の学生を確保していますので、新年度も200人越えを目標に取り組んでいると伺っています。

- 1点目 オートキャンプ場維持管理 予算額：959万円
- 2点目 拓殖大学北海道短期大学振興 予算額：5,065万円



北名照美 議員 (日本共産党)

### 市営住宅の減免制度周知を

### 全入居者に文書配付し周知

Q 市営住宅入居者を対象とした家賃の減免制度は、周知が不十分なため条件に該当するのに利用していない方がいるのではないかと。基準を例示してお知らせや、入居者への申請書配付の考えについて伺う。

A 減免制度の周知方法としては、市のホームページに掲載しているほか、新規入居者には入居説明の際に、既存の入居者には例年2月と4月に通知文書を全戸配付しており、本年2月からは、減免対象となる世帯の具体例を記載し、4月には申請書と記載例を同封する予定です。また、現在減免を受けている方は、適用期

間が過ぎると再申請が必要となるため、期限の1カ月半前をめどに通知文書と申請書を配付しています。

生活保護の周知、相談室の改善を

Q 生活保護は憲法で保障された国民の権利であるが、制度の周知が不十分であり、基準額を例示したチラシが必要と考えるかが。また、相談室を広く明るい雰囲気

- 1点目 市営住宅使用料(歳入) 予算額:1億2,490万円
- 2点目 生活保護法に基づく各種扶助費 予算額:6億2,100万円

付議事件	7件
決議	1件
意見書	3件
補正予算	9件
新年度予算	8件
条例	7件



みんなのことを  
審議し、決めました

**Pick Up**  
補正予算 新型コロナウイルスに対応するため各事業費を補正 全会一致

3月23日の最終日において、新型コロナウイルス感染症による影響から市民生活を守るべく、子育て支援及び経済対策のための各事業費が計上された一般会計補正予算を可決しました。



市内経済の低下が顕著になっていることから、適切な時期にいち早く地域内の消費喚起を図り、市内経済の回復に資するため、プレミアム付商品券事業を実施するものです。

- 【事業概要】
- ①プレミアム付商品券  
プレミアム率30%（1セット13,000円分を10,000円で販売）
  - ②販売セット数：25,000セット
  - ③実施時期：新型コロナウイルス感染症の状況や、国などの景気回復支援の動向を見極め、適切な時期に実施予定



小学校の臨時休校による児童の居場所を確保するため、学童保育の開所時間を早めた臨時措置に伴い、委託料を追加するものです。

- 【積算根拠】  
開所時間の延長に係る人件費・物件費、また、延長に伴う人材確保の経費及び延長時間に障がい児を受け入れる場合の経費
- 【財源内訳】  
国補助金：321万円  
一般財源：21万円

【条  
例】

■深川市税条例の一部を改正する  
全会一致

地方税法施行令等の一部を改正する等の政令が公布されたことに伴い、国保税において基礎課税額の課税限度額を58万円から法令の上限額である61万円に法令の定めに基づいて改めるものです。

■深川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
賛成多数

児童福祉法の改正により放課後児童支援員の認定について、資格研修を終了する予定の方も放課後児童支援員とすることができる経過措置の期限を令和2年3月31日から5年3月31日まで延長するものです。

■公益的法人等への深川市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例  
賛成多数

令和2年4月1日から運用を開始する公私連携型保育所について、当

該保育所を運営する法人に、本市の職員を派遣することができるよう、関係条例について必要な改正を行うものです。

【補正予算】

第1回定例会で提案された補正予算のうち、増額補正となった主なものを掲載します。

ふるさと納税

見込みを上回るふるさと納税寄付額の返礼品などに係る経費  
500万円

高齢者バス利用料金助成事業

助成事業登録者のバス利用増に伴う、バス事業者への助成金  
80万円

担い手確保・経営強化支援事業

道補助金配分の確定に伴う補助金  
1593万円

市議会だよりに掲載しきれなかった案件は市HPで確認できます。



議決結果：市HP

【意見書】

内閣総理大臣などに送付しました

- 新型コロナウイルス感染症対策等を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症対策等を求める意見書  
※同一の意見書名ですが、提出先が異なるものです。
- 中高年ひきこもりへの支援を求める意見書

全会一致

	議員名（議席番号順）											議決結果			
	佐々木一夫	松本雅祐	山本時雄	北村薫	大前昭代	田畑陽美	太田幸一	宮澤孝司	辻本智	近沢弘幸	小田雅一		鶴岡恵司	田中昌幸	北名照美
第1回定例会	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○	○	可決
	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○	○	可決
	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○	●	可決
	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○	●	可決
	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	徐	-	棄	否決
	○	●	●	●	●	●	○	●	●	徐	●	-	●	棄	否決

※賛成=○、反対=●、棄=棄権、除=除斥（採決に加わることができない）  
鶴岡恵司議長（議長除斥時は田中昌幸副議長）は採決に加わりません。

**固定資産評価審査委員会委員の選任**  
野原 利浩さん  
須田 和志さん  
全会一致

**副市長及び固定資産評価員の選任**  
早川 雅典さん  
全会一致

**教育長の任命**  
吉村 理明さん  
全会一致

「プレミアム付商品券事業」補正予算可決

## Pick Up

### 地方創生 特別委員会で人口ビジョン・総合戦略を審査！

市が計画策定を進めている「**深川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（改訂版）**」と「**第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略**」について、深川市議会においても十分な審査を行うため、令和元年12月9日に「地方創生特別委員会」を設置しました。

委員会設置後、「計画素案」をもとに審査を重ね、令和2年2月17日の第4回委員会では関係所管の部課長出席のもと各委員が質疑を行い、最終回となった第5回委員会においては、「計画素案」から「計画案」となった中での変更点を確認しました。

その後、3月23日の第1回定例会最終日において、小田地方創生特別委員長より委員会での審査の経過と概要を報告しました。

#### 【委員会での主な質疑】

- ・デマンド型乗り合いタクシー導入検討の経緯
- ・医師養成修学資金貸付金制度の貸付実績と深川市立病院への就職実績
- ・農福連携の推進など障がいのある方の記述の必要性
- ・移住コンシェルジュと地域おこし協力隊のかかわりの現状と、今後の考え方
- ・介護従事者の雇用状況と雇用安定のための取り組み



小田地方創生特別委員長

## Pick Up

### 総務経済 移住された方々からたくさんのご意見を伺いました！

深川市議会では、幅広い団体・市民の皆さんと意見交換を行い、その意見を議会運営に反映することを目的に、平成29年から意見交換会を開催しています。

これまでは全議員が参加する中で行ってきましたが、令和元年度からは各常任委員会が行う分野別の意見交換会を開催することとしました。

今回は、総務経済常任委員会が深川市移住・定住サポートセンターの協力のもと、「深川市に移住された方々との意見交換会」を開催し、実際に暮らしてみた感想や行政サービスの課題など、多数のご意見をいただきました。



#### 【テーマごとの意見】

- **テーマ：移住者から見た深川市の魅力は？**
  - ・ほどよい田舎で、高速道路を利用した遠方へのアクセスも便利
  - ・遊ぶ場所と生活する場所を区別できるのが魅力
  - ・多くの地域を見てきたが、平坦な土地の中古住宅物件が多いのが魅力
- **テーマ：前居住地との行政サービスの違いは？**
  - ・水道、光熱費が地域によって違うことに驚いた
  - ・小学校スクールバスの乗車条件が地域によって異なるのが不思議
  - ・都会に比べて、図書館に読みたい本が少ない
- **テーマ：移住・定住を促進するための課題は？**
  - ・移住者向けの支援制度の充実
  - ・冬の生活イメージを具体的に発信することが必要
  - ・若い人をターゲットにしたパンフレットの充実
  - ・特殊な技術を生かす職場が少ない



## 市の対応状況などを確認 今後も状況に応じ適宜開催



# 新型コロナウイルス感染症 対策会議を設置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対処するため、市が2月23日に新型コロナウイルス感染症対策本部（以下「対策本部」）を設置したことを受け、議会も対策本部との連携を強化するため、速やかに深川市議会新型コロナウイルス感染症対策会議（以下「対策会議」）を設置しました。

#### ■ 設置の経緯

深川市議会では、「深川市議会災害対策要綱」において自然災害が発生した際の議会または議員の基本的な行動などを定めています。が、今回の新型コロナウイルス感染症への対応については、社会的な影響の大きさに鑑み、市の対策本部設置を受けて2月25日に対策会議を設置しました。

#### ■ 会議の内容

対策会議は、定例会会期中においては初日の3月3日と、最終日の3月23日に開催し、それぞれ対

策本部から事態の経過や各所管の対応、協議・検討された事項について説明を受け、不明な点や改善点を確認しました。  
各議員から、関連情報の周知・発信、感染が疑われる場合の対処方法、公共施設の管理運営や市内事業者への支援を含めた経済対策、また、学校の臨時休校措置に伴う学習の遅れへの対応、日中の子どもの居場所確保や市内医療機関の対応状況などについて質疑や提案を行いました。  
今後においても、引き続き状況を注視し、適宜対策会議を開催することとしました。

# 令和元年度政務活動費収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究などの活動に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額12万円までを会派に対し交付することができるものです。

令和元年度の各会派における政務活動費の収支内訳は以下のとおりです。

(単位：円)

会派	収入 (交付限度額)	支出	調査研究費(主な内容)				研修費	広報費	要請・陳情 活動費	資料 購入費
			525,493							
公政 クラブ (5人)	600,000 (600,000)	600,000	10月28日～31日 香川県坂出市・善通寺市～地 域公共交通政策など 2月13日・14日 サミットストア、移住・交流 情報ガーデン訪問、議員会館 要請(東京都)など				0	0	41,660	32,847
民主 クラブ (3人)	340,750 (360,000)	340,750	0				340,750	0	0	0
令和公明 クラブ (3人)	360,000 (360,000)	360,000	263,296				96,704	0	0	0
新政 クラブ (2人)	170,130 (240,000)	170,130	170,130				0	0	0	0
日本共産党 深川市議団 (1人)	120,000 (120,000)	120,000	0				0	106,950	4,780	8,270

※政務活動費に充てることができる経費の範囲は条例などで定められています。

実績報告書や収支報告書の詳細は、市ホームページで確認できます。

深川市議会政務  
活動費：市HP



令和元年度に行いました各委員会の行政視察  
報告書を市ホームページに掲載して  
いますので、ぜひご覧ください。

行政視察報告：市HP



## 編集後記

今定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問を行わないこととしました。各議員は予算審査特別委員会で、令和2年度予算の事業が市民福祉の向上や地域振興に反映されているかなど、一般質問を行わない分も含め予算審査に取り組みました。今号では、各委員会での活動や政務活動費収支報告など、多くの議会活動を掲載しております。



広報編集委員 松本雅祐

◆ 問合せ：深川市議会事務局 ◆

〒074-8650 深川市2条17番17号  
電話0164-26-2282 (直通)